

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月10日
【四半期会計期間】	第108期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	東京ラヂエーター製造株式会社
【英訳名】	TOKYO RADIATOR MFG. CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 林 隆司
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
【電話番号】	0466（87）1231（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部・企画管理部担当取締役執行役員兼総務部長 村田 敬
【最寄りの連絡場所】	神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
【電話番号】	0466（87）1231（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部・企画管理部担当取締役執行役員兼総務部長 村田 敬
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第107期 第1四半期連結 累計期間	第108期 第1四半期連結 累計期間	第107期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (千円)	6,138,493	6,740,302	26,836,422
経常利益 (千円)	566,763	538,024	2,241,929
四半期(当期)純利益 (千円)	511,034	307,430	1,470,452
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	572,013	454,074	1,493,918
純資産額 (千円)	11,454,387	12,660,187	12,249,277
総資産額 (千円)	19,012,351	20,988,873	21,152,902
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	35.52	21.37	102.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.4	57.3	55.2

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 第107期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」  
(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により電力安定供給への懸念からの生産活動への影響や原発事故の風評被害等により景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要市場でありますトラック業界では、震災の影響を受け前年同四半期に比べ売上が減少しました。

また、産業・建設機械業界におきましては、新興国及び米国をはじめとする先進国の需要回復により前年同四半期に比べ売上が増加しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は67億40百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

利益面におきましては、原価低減活動を推し進めましたが震災の影響による稼働率の低下で、営業利益は5億2百万円（前年同四半期比11.6%減）、経常利益は5億38百万円（前年同四半期比5.1%減）、四半期純利益は3億7百万円（前年同四半期比39.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 日本

・売上高（セグメント間の内部売上高を含む）	61億26百万円（前年同期比 0.3%増）
・セグメント利益	3億56百万円（前年同期比 24.8%減）

#### b. 中国

・売上高（セグメント間の内部売上高を含む）	14億51百万円（前年同期比 51.3%増）
・セグメント利益	1億20百万円（前年同期比 4.1%増）

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、209億88百万円と前連結会計年度末に比べ1億64百万円の減少となりました。

流動資産は134億6百万円と前連結会計年度末に比べ30百万円の減少となり、固定資産は75億82百万円と前連結会計年度末に比べ1億33百万円の減少となりました。

流動資産減少は主として、売上高の増加により受取手形及び売掛金5億90百万円、流動資産「その他」に含まれているその他の流動資産1億7百万円が増加しましたが、棚卸資産の減少2億64百万円及び流動資産「その他」に含まれている日産自動車㈱のグループファイナンスに対する預け金5億54百万円が減少したこと等によるものです。

固定資産減少は主として、有形固定資産の新規投資を減価償却費の範囲内で実施したことによる減少1億35百万円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、83億28百万円と前連結会計年度末に比べ5億74百万円の減少となりました。

流動負債は80億59百万円と前連結会計年度末に比べ5億8百万円の減少となり、固定負債は2億68百万円と前連結会計年度末に比べ66百万円の減少となりました。

流動負債減少は主として、未払費用2億2百万円が増加しましたが、支払手形及び買掛金が2億79百万円及び未払法人税等3億91百万円が減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、126億60百万円と前連結会計年度末に比べ4億10百万円の増加となりました。

これは主として、四半期純利益(累計期間)3億7百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は20百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	43,200,000
計	43,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,400,000	14,400,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	14,400,000	14,400,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	14,400,000	-	1,317,600	-	778,300

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,600		単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,386,300	143,863	同上
単元未満株式	普通株式 2,100		
発行済株式総数	14,400,000		
総株主の議決権		143,863	

【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 東京ラヂエーター製造(株)	藤沢市遠藤2002番地1	11,600		11,600	0.08
計		11,600		11,600	0.08

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,441,335	1,463,332
受取手形及び売掛金	7,175,595	7,765,825
商品及び製品	523,757	451,023
仕掛品	534,508	425,571
原材料及び貯蔵品	794,621	711,915
繰延税金資産	324,941	363,464
その他	2,643,824	2,226,883
貸倒引当金	1,504	1,504
<b>流動資産合計</b>	<b>13,437,079</b>	<b>13,406,512</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	4,234,925	4,267,667
減価償却累計額	2,381,624	2,413,957
建物及び構築物（純額）	1,853,300	1,853,710
機械装置及び運搬具	11,898,353	11,978,303
減価償却累計額	8,916,611	9,053,652
機械装置及び運搬具（純額）	2,981,742	2,924,650
工具、器具及び備品	5,653,489	5,431,186
減価償却累計額	4,897,373	4,765,176
工具、器具及び備品（純額）	756,116	666,009
土地	1,268,890	1,268,890
建設仮勘定	94,308	105,877
<b>有形固定資産合計</b>	<b>6,954,358</b>	<b>6,819,139</b>
無形固定資産	72,090	86,925
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	419,597	469,429
繰延税金資産	206,030	144,127
その他	65,946	64,939
貸倒引当金	2,200	2,200
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>689,373</b>	<b>676,295</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,715,822</b>	<b>7,582,361</b>
<b>資産合計</b>	<b>21,152,902</b>	<b>20,988,873</b>



	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,758,443	5,479,230
短期借入金	589,224	590,139
未払費用	919,324	1,122,145
未払法人税等	580,282	188,757
製品保証引当金	75,242	66,985
災害損失引当金	5,000	4,501
設備関係支払手形	147,864	184,091
その他	493,250	423,961
流動負債合計	8,568,631	8,059,811
固定負債		
退職給付引当金	221,571	227,185
その他	113,421	41,689
固定負債合計	334,993	268,875
負債合計	8,903,624	8,328,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,317,600	1,317,600
資本剰余金	778,300	778,300
利益剰余金	9,691,128	9,955,393
自己株式	4,292	4,292
株主資本合計	11,782,736	12,047,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,596	156,645
為替換算調整勘定	237,781	180,522
その他の包括利益累計額合計	109,185	23,877
少数株主持分	575,726	637,063
純資産合計	12,249,277	12,660,187
負債純資産合計	21,152,902	20,988,873

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,138,493	6,740,302
売上原価	5,128,274	5,779,138
売上総利益	1,010,219	961,163
販売費及び一般管理費	441,817	458,465
営業利益	568,401	502,697
営業外収益		
受取利息	1,033	5,989
受取配当金	2,612	2,134
為替差益	-	24,206
受取賃貸料	2,007	1,969
受取手数料	2,567	2,593
持分法による投資利益	986	1,536
その他	3,156	496
営業外収益合計	12,363	38,927
営業外費用		
支払利息	1,895	2,845
為替差損	10,624	-
その他	1,480	754
営業外費用合計	14,001	3,600
経常利益	566,763	538,024
特別損失		
固定資産除却損	124	232
特別損失合計	124	232
税金等調整前四半期純利益	566,639	537,792
法人税、住民税及び事業税	139,869	183,653
法人税等調整額	124,042	4,477
法人税等合計	15,827	188,130
少数株主損益調整前四半期純利益	550,811	349,661
少数株主利益	39,777	42,231
四半期純利益	511,034	307,430

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	550,811	349,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,542	28,048
為替換算調整勘定	27,655	76,280
持分法適用会社に対する持分相当額	89	83
その他の包括利益合計	21,201	104,412
四半期包括利益	572,013	454,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	525,450	392,737
少数株主に係る四半期包括利益	46,563	61,336

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用） 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

前連結会計年度 （平成23年3月31日）	当第1四半期連結会計期間 （平成23年6月30日）
受取手形裏書譲渡高 11,395千円	受取手形裏書譲渡高 11,718千円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
減価償却費 334,480千円	減価償却費 306,541千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力

発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	43,165	利益剰余金	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力

発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,459,326	679,166	6,138,493	-	6,138,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	649,568	280,487	930,055	(930,055)	-
計	6,108,895	959,654	7,068,549	(930,055)	6,138,493
セグメント利益	473,912	116,130	590,042	21,641	568,401

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,678,651	1,061,650	6,740,302	-	6,740,302
セグメント間の内部売上高 又は振替高	448,044	389,935	837,979	(837,979)	-
計	6,126,696	1,451,586	7,578,282	(837,979)	6,740,302
セグメント利益	356,513	120,868	477,381	25,316	502,697

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	35円52銭	21円37銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	511,034	307,430
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	511,034	307,430
普通株式の期中平均株式数 (株)	14,388,384	14,388,384

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

東京ラヂエーター製造株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 金子 裕子

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 齋田 毅

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京ラヂエーター製造株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東京ラヂエーター製造株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。